事業所における自己評価結果（2023年度）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		利用児の発達などの状況や行事内容、きょうだい児の人数によっては、既定の人数よりも多く職員配置をしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		事業所がテナント2階にあるので、エレベーターが無いなどバリアフリーに対処できていないが、必要とする利用者が今のところいない。壁の掲示物などを必要最小限にし、視覚からの刺激を減らしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		利用人数や利用児の発達状況を考慮し、全体が安全に活動できるような室内の設定（机・玩具など）を行っている。また、隣接する飲食店の所有物(テーブル、油缶、灰皿など)での事故を防ぐためにテナント廊下に折り畳み式のゲートを設置した。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日々打ち合わせと振り返りを行い、職員間の共通認識を深め、改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者からの要望があれば、できる限り迅速に改善するよう努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		2023年度分は、2024年2月にホームページに掲載。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在行っていない。	保護者等からの事業所評価で頂いたご意見を参考に業務改善を行っていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		積極的に外部研修に参加し、事業所で伝達研修を行っている。 また月1回内部研修を設けている他、必要に応じて研修を行っている。職員以外のスタッフも参加できるよう努めている。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		契約時に保護者から丁寧に聞き取りをするよう心がけている。保護者が望む支援と子どもの姿に考慮し、必要な課題を設定している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	契約時に子どもの発育や生活面の状況、好きな遊びや家庭での様子等、丁寧に聞き取りを行うよう心掛けている。また、発達検査の結果など保健センターから申し送ってもらっている。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		保護者からの聞き取りを丁寧に行うよう心掛け、必要な支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画の課題に沿った活動を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		月1回の定例会議で行事内容や保育案を考え、必要に応じて話し合いを行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもたちが活動に見通しを持てるよう、保育の大まかな流れは固定している。散歩コースや活動場所、遊び方を工夫している。また、製作やリズム、クッキング、父親参観等の行事を定期的に行っている。	
	16	（放課後等デイサービスのみ） 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団活動を行う中での個々に対する支援内容を、一人一人の発達段階に応じて考え、作成している。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		その日のリーダー保育士が主となり日案を作成し、保育開始前に全職員で打ち合わせをしている。必要に応じて、利用児や保護者の様子、前日の保育の申し送りを行っている。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		リーダー保育士が日案を持って行い、保育終了後に活動内容・利用児や保護者の様子・ヒヤリハット等を共有し、振り返りを行っている。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		振り返り終了後に、日案と利用児の記録を職員が記入している。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年以内に1回の見直し（前期・後期）。各ケース毎に検討を行い、発達状況や支援内容、今後の課題について職員間で話し合っている。	

	22	（放課後等デイサービスのみ） ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	利用者のほとんどが保健センターからの紹介で、現在、相談支援事業所を利用している人がいない。	今後、必要に応じて相談支援事業所とも連携していきたい。
	24	（児童発達支援のみ） 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		事業所同一法人の子育て支援施設や事業所主催のつどいの日との情報共有をしている。 保健センターとの協議を年1回実施。	
	25	（放課後等デイサービスのみ） 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				
	26	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	（児童発達支援のみ） 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就園先の児童発達支援センター・保育所・幼稚園へ必要に応じて申し送りをしている。	
	29	（児童発達支援のみ） 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		年長児については保護者の希望に応じ、就学指導に関して小学校や教育委員会と連絡を取り、情報共有を図ったり、学校見学の付き添いを行っている。	
	30	（放課後等デイサービスのみ） 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	（放課後等デイサービスのみ） 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所への見学・研修を行った。また、発達相談員のセンター職員を講師に招き、発達の講演会を行っている。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	利用者に対して、法人のイベントや取り組みへの参加を呼びかけている。	
	34	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			

	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		親子通所のため、常日頃から家庭での様子を聞き取ったり、事業所での子どもの発達状況や課題を伝え、理解してもらえるよう努めている。分離保育後には、写真を提示しながら、子どもや集団の様子を丁寧に伝えている。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	外部講師に依頼し、子育てや発達についての講演会を実施している。定期的に保護者交流会を企画し、親同士がつながり合うピアサポートを中心に支援を行っている。	
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		利用開始から1カ月以内に個別支援計画の提示を行い、同意を得ている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		契約時にアセスメント、半年に1回個人懇談を行っている。保護者からの希望に応じて相談の時間を設けたり、子どもの状況に合わせてこちらから声かけしている。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		月1回の学習会(交流会)に加え、不定期で交流の場を設けている。OB会(小学生保護者対象)を立ち上げ、保護者交流会の支援を行っている。	
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者から相談の希望があれば迅速に対応している。	年度後半は利用人数増加の影響があるのか、気軽に相談を持ちかけにくい保護者がいるようなので、体制を整え、周知に努めていきたい。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回おたよりを発行している。 併行保育利用者には、必要に応じておたよりを配布。また保育終了後、保護者に対して写真を提示しながら振り返りを行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員以外のスタッフにも個人情報取り扱いについての同意を得ている。重要書類は利用者から見えない場所に保管。個人情報が記載された書類は、使用後シュレッダーで廃棄している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		具体物を見せて誘いかけたり、わかりやすいことば遣いで関わるよう心がけている。保護者に対しては活動中の注意事項を繰り返し伝えたり、行事の前日にはメールでお知らせし、確認している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	法人の行事に事業所として参加し、周知に努めている。	
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルは毎年見直し、保育室に掲示している。特に保育中の事故を受け、緊急時対応マニュアルの改善を行った。 年1回、警察署の協力を得て防犯訓練を行っている。	
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		火災・地震の防災訓練を定期的に実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に生育歴・既往歴・服薬の状況を確認している。てんかん発作・アレルギー等の項目をより細かく確認するツールを作成し、活用している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○		現在、指示書等で対応するケースはないが、契約時に離乳食未完了の食べ物やアレルギーを保護者から聞き取りし、クッキングや昼食時は十分に留意している。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書を見直し、小さな出来事（ヒヤリハット）も話し合えるように工夫している。定期的に安全対策の話し合いを行っている。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待に関する外部研修に参加。毎年内部研修を行い、職員間で話し合いを重ねている。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束や虐待につながる行為について職員間で話し合い、共通認識を図っている。保護者に対しては、必要に応じて怪我や事故を防ぐ目的での行動制限をすることがあると伝えている。	